

協力事業

7月 ふれあい祇園まつり

8月 子ども陶芸教室

11月 文化祭

芸能発表会

12月 そば打ち教室

笠間市社会福祉協議会



稲田支部

み か げ

第10号

平成30年3月10日発行

発行 笠間市社協稲田支部
 支部長 長谷川 泉
 編集 稲田支部広報委員会
 印刷 大塩企画



敬老祝賀会 盛大に開催！

平成二十九年度敬老祝賀会が九月十八日(月)敬老の日に、ご来賓の笠間市教育長、稲田中学校長・稲田小学校教頭先生、区長代表、公民館運営審議会委員長のご臨席のもと、稲田公民館で盛大に開催されました。

この敬老祝賀会は長いことボランティア団体「みかげ会」が主催してきましたが、今年度より、社協稲田支部と「みかげ会」でつくられた「稲田地区敬老会実行委員会」が主催し、関係者や地域の皆様のご協力のもと実施されることとなりました。

今年度の稲田地区の七十五歳以上の対象者は五〇一人で、米寿八十八歳の市長祝状の贈呈者は五人でした。式典では、一人一人祝状が笠間市教育長より贈呈され、鉾田瑞穂様が出席者を代表して感謝の言葉を述べられました。

アトラクションでは、地域の方による石切音頭や親鸞音頭、ひょっこ、フラダンス、よさこいなどが披露され、楽しいひと時を過ごすことができました。また出席者どうし会話もはずみ、和やかに交流していました。皆様のご協力で、心温まるとてもよい敬老祝賀会となりました。

敬老祝賀会



米寿祝状贈呈



アトラクション「ひょっここ」



敬老祝賀会反省会

おしゃべりサロン

地域の方の親睦と交流を深め、楽しいひと時を過ごしてもらおうと、おしゃべりサロン「楽しい民話の語り」を七月十五日（土）稲田公民館で実施しました。参加者は十八人でした。

地域在住のことぶきゆめこ（本名山口由美）さんを語り部として、「四匹のきつね」「胡桃下稲荷神社の話」「大日山の天狗の話」「蛇になったお姫様」「くわばらと唱えるいわれ」「屁っぴり嫁」など楽しい民話語りをしていただきました。

語りは、顔の表情も豊かに、身振り手振りを交え、登場人物になり切った声色で見事に表現していました。



また、鈴やでんでん太鼓、ひしゃく、バケツなどの小道具も使い、要所ではアドリブを加え、参加者の笑いを誘いながらおもしろおかしく口演していました。

語り部のことぶきゆめこさんは、語り終わった後「皆さんにのせられて楽しく語ることができました。これからも地域に伝わる民話を面白く伝えていきたいと思っています」とお話しされていました。

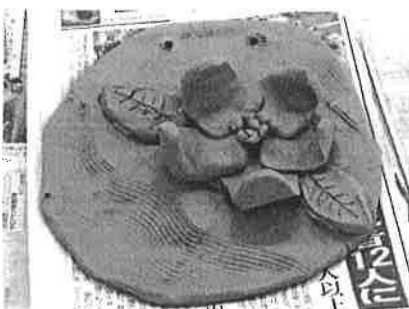
子ども陶芸教室（協力事業）

支部社協では青少年健全育成を旨とし、公民館活動の子ども陶芸教室に協力しています。

地域在住の陶芸作家山口由美先生を講師にお迎えして八月四日（金）稲田公民館で開催されました。児童、保護者、役員合わせて十一人の参加がありました。

最初に先生から基本的な作り方を教わり、その後は思い思いに手びねりを楽しんでいました。ヒマワリや

ヤブツバキや猫の壁掛け、貝殻やヒトデ模様のカップ、葉っぱ皿など子どもらしい独創的な意匠もあり、見事な形に仕上がりました。色付けと焼成は先生にお願いしました。



参加した六年生の柳橋龍太郎君は「土面作りはしたことがあるけど、笠間焼の器作りは初めてです。形ができてあがつていくところが楽しかったです」と話していました。

山口由美先生も「手びねりの楽しさを味わって頂けたことを大変うれしく思います。子どもたちの素敵な発想はとても勉強になりました」と話されていました。

これらの作品は十一月の公民館文化祭に出品され、参観者の好評を得ました。とてもすばらしい作品を見て、関係者一同、来年度はもっと多くの子どもたちに参加してほしいなと思いました。

ハイキング



健康な体づくりと地域の方の親睦と交流を目的に、十月二十八日(土)参加者十四人で、色づき始めの稲田ハイキングを実施しました。

朝九時稲田駅前駐車場に集合、出発。すぐ石の百年館に到着。ここでは稲田石材業の歴史と岩石・鉱石について各自興味関心に応じて見学。

この後、玉日廟を経由して西念寺に向かいました。うつそうとした杉木立の参道を抜けると歴史ある山門に到着。本堂前では見事なお葉付きイチヨウが出迎えてくれました。

そして稲田の産土(うぶすな)の神・稲田神社、奥宮へ。さらに石切山脈へと向かいました。ここでは、想石様のご厚意により、担当の方から石



西念寺



稲田みかげ石の額縁



紅葉の石切山脈

切山脈の案内と説明を頂きました。石切場の下は満々と水をたたえた池になっていて、深い青緑色がきれいです。深さは二・三十メートルはあるそうです。石のミニメントもすばらしかったです。今インターネットなどでも話題となっていて、この日も東京から大型の観光バスが見学にきていました。

この後は、旧トロツコ道を歩いて稲田駅前までもどり、解散しました。半日の稲田ハイキングでしたが、途中でのおしゃべりやお茶が楽しかったです。でも疲れたあ(私だけ?)。参加者の中からは、「日ごろの運動不足解消にこれからも歩きたい」「稲田に住んでいても分からないところがあったのでよかった」「これからいろいろなところを計画してほしい」などの声が聞かれました。



県外研修会・東京



平成二十九年十一月二十二日(水)年に一度の県外研修日。今回は、国会議事堂・皇居・巣鴨とげぬき地蔵を巡りました。

国会議事堂では、地元茨城県選出の田所嘉徳衆議院議員の同行を頂き、私たちの生活に関わる重要な法案が審議される本会議場など、普段テレビや新聞では見られない所も見学し、説明を受けることができたことは貴重な経験となりました。



国会議事堂前

皇居では、一般参賀のニュースでの名場面、皇居宮殿東庭で皇族方が顔をお見せになり手を振られる場所なども見学できました。

晩秋の都内で研修・散策をし、有意義な一日となりました。

〈参加者からの声〉

以前国会議事堂の見学をしているのですが、今回はレアな場所の見学と細かい説明を受けることができてよかったです。昼食のうなぎ弁当もおいしかったです。

一年に一回ですが、楽しみにしています。



衆議院本会議場

研究会で発表 社協稲田支部長

今冬最低気温を記録した平成三十年一月二十七日(土)、友部公民館で「平成二十九年度支部地区社協活動研究集会及び在宅ケアチーム員研修会」が開催され、長谷川泉稲田支部長が支部の活動について約二十分間報告しました。

支部活動の方針や構成、事業内容について映像を使い、分かりやすく説明しました。特に事業内容については、たくさんさんの写真を使い一つ一つ具体的に説明しました。他の支部地区でも活動の参考になるところがあったと思います。

稲田支部のほかには、北川根支部と下安居地区が報告しました。



協力事業



第64回稲田公民館文化祭
11月4日(土)～11月5日(日)



文化祭作品



文化祭表彰式



第14回稲田公民館芸能発表会
11月19日(日)



水曜会社交ダンス



芸能発表会の客席



そば打ち教室
12月3日(日)



そば打ち教室

友愛訪問

一人暮らしの高齢者訪問

一人暮らしの高齢者の方々とのおふれあいと安否確認を目的に平成三十年一月二十日(土)友愛訪問を実施しました。稲田地区の八十歳以上の一人暮らしの高齢者四十六人を対象に、民生委員・児童委員六人と支部社協役員四人が手分けして訪問しました。

長寿のお祝いに紅白まんじゅうを手渡し、ねぎらいと感謝の言葉を述べ、近況や困りごとなどについて話を聞きました。高齢者の方々にはとても喜んで頂き、うれしい訪問となりました。これからも元気で心豊かに過ごせるようにと願いながら、訪問先を後にしました。

編集後記

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ

服部 嵐雪

立春を過ぎても厳しい寒さは続いています。感覚としてはまだ冬なのに、庭先の梅の花が一輪ほころぶと、どこかにほんの少し暖かさが感じられるように、春の訪れが近いことを思わせま

す。また一輪ずつ開くにつれて、次第に暖かさが増してくるようです。

この号が届くころには梅の花も満開。寒さも峠を越しているでしょう。もう少しの辛抱です。皆様にはどうぞご自愛を。

広報委員

梅原 守

中野 治美

山口 由美